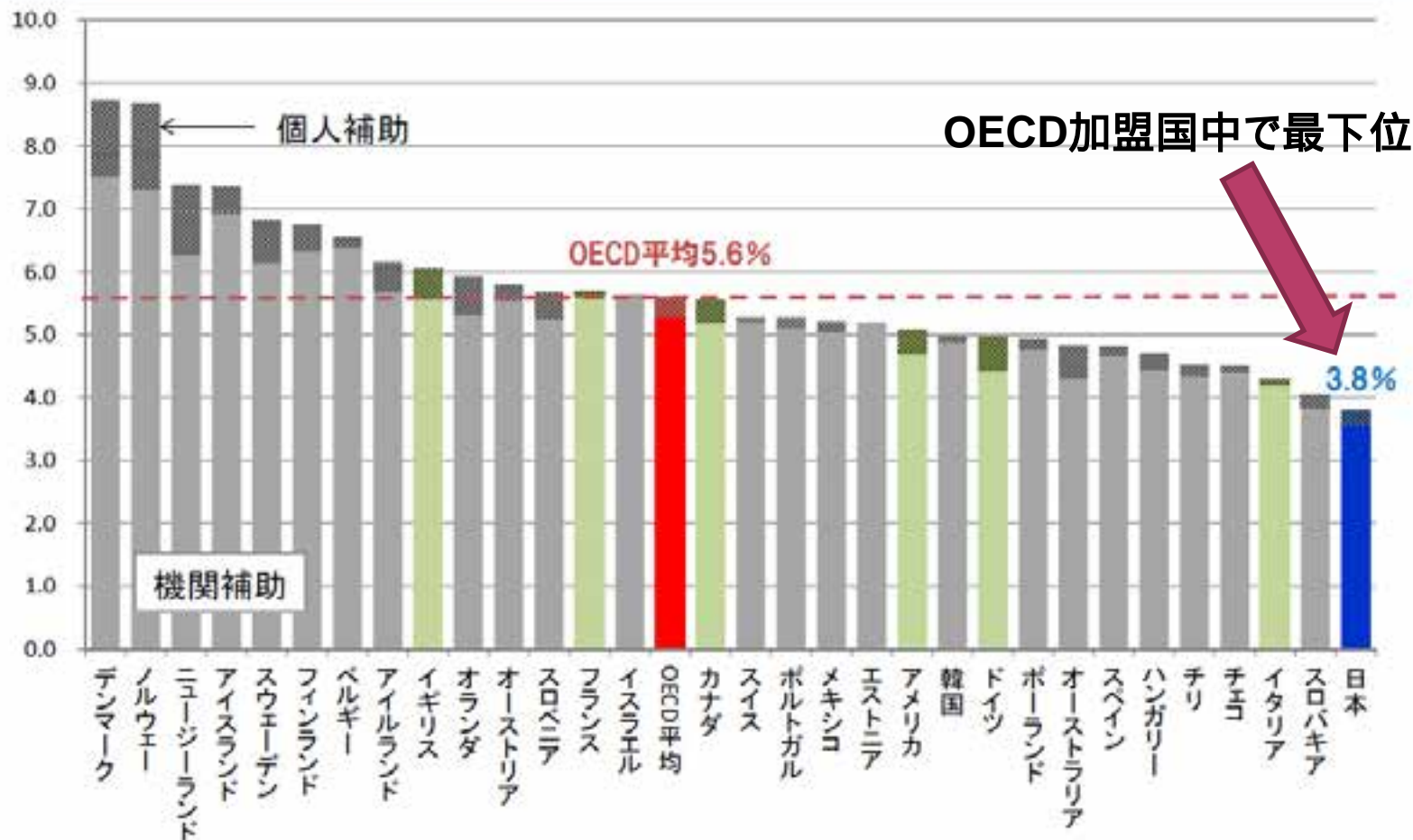


Ⅱ. 諸外国と比較した我が国の教育投資

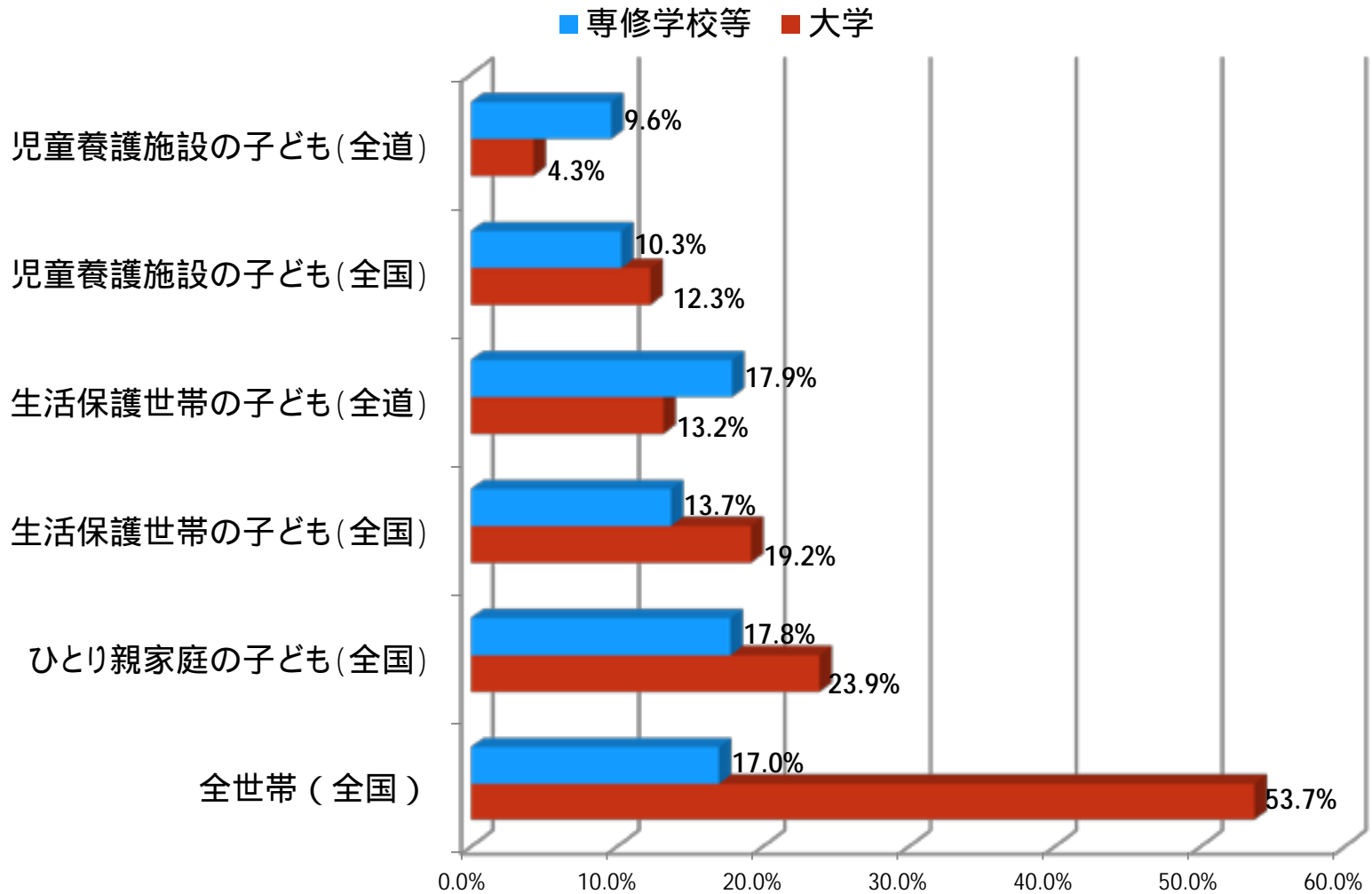
(1) 公財政教育支出の対GDP比 (2011年)

我が国の公財政教育支出の対GDP比は、機関補助と個人補助を合わせて3.8%であり、データの存在するOECD加盟国の中で最下位である。



(出典)OECD『図表でみる教育』(2014年版) グラフ緑色は日本以外のG7諸国

進学率



ひとり親家庭(全国) 専修学校(一般課程 + 専門課程) + 各種学校
全世帯(全国) 専修学校(専門課程)

子どもの貧困対策推進

平等 公平



平等はそれぞれの状況を鑑みずに全員に対して同じ待遇を施し、結果野球の試合を見られない人がいます。

しかし**公正**ではそれぞれの状況に応じて待遇を変え、全員が野球の試合を見られるようになっています。最初にまず公正さが担保されて初めて平等を得ることができるとされています。

ひとり親家庭の生きづらさ

- 家計が苦しいのは自分の努力が足りないから！？
 - 誰かに相談して良い事と思っていない
- 親ならきちんと子どもを育てるのが当たり前
 - ひとり親だからこそ、後ろ指を指されないように！
- 可哀そうな家族 → 共感ではなく、同情、偏見
- 「大変なのは母子家庭だけじゃない！」
 - みんな大変なのに、母子家庭は優遇されている！
- ワンオペ育児「うちだって母子家庭みないものよ」
 - わかってもらえない！
- 支援制度も使えない。使える事を知らない。
 - 使い勝手が悪くても、それを声に出せない。
改善されないままの制度…。



市民の共通認識が必要

- 子若
- 貧困は社会的孤立、
こころとからだの健康状態の悪化、
特に困窮家庭に育つ若者の自立の困難、
社会の不安定化を招いている！

- 貧困の放置は、社会的損失

現在15歳の子どもも1学年だけでも、社会が被る
経済的損失は約2.9兆円に達し、政府の財政負担
は1.1兆円増加する。(日本財団「子どもの貧困の社会的損失推計」レポート)

共に生きる社会

2025年大介護時代に

3人に1人65歳以上、5人に1人75歳以上

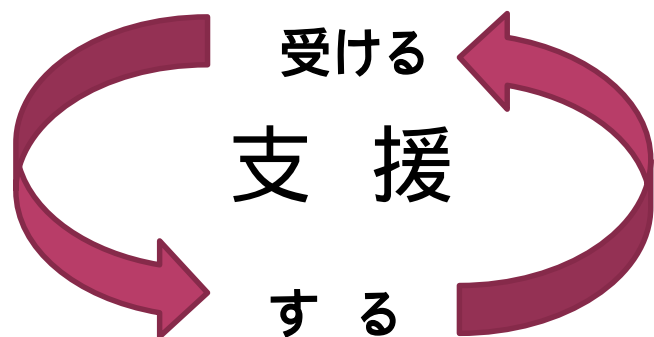
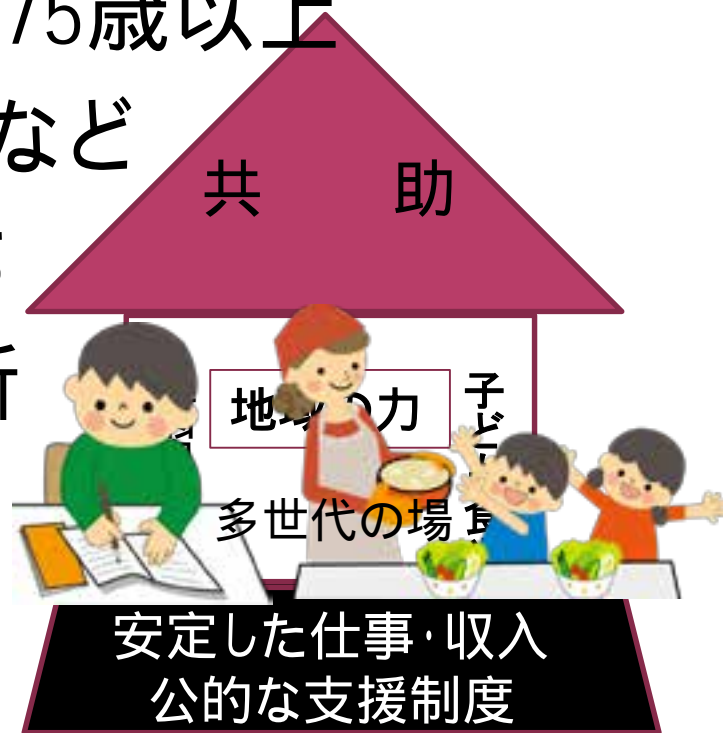
子育てだけでなく、介護、病気など

人に頼らない 孤立しがち

- 子どもの居場所・親の居場所

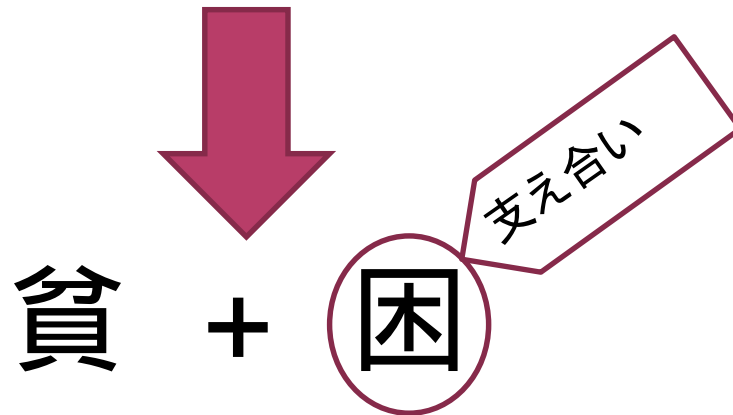
共生の場であり協働の場

認められる場 必要とされる場



お金がないことが貧困ではない

- 困りごとがある！
- 助けてくれる人がいない！
- お金がない + 困りごと + 孤立



自己努力だけでは抜けられない社会的背景

あなたのすぐ隣にある貧困
気づく→知る→理解

私たちが住むこの社会は？

誰もが安心して暮らせる？

安心して働き、子育てができる？

すべての子どもにチャンスがある？

病気や障がいがあっても生活できる？

多様な生き方を認め合える？



ひとり親家庭の問題だけではない！？

ひとり親家庭 = 不幸ではない！



ご清聴ありがとうございました

